

わたなべ豊子議会報告 No.75



12月定例会で4項目一般質問をしました！

※ホームページもご覧ください。 [わたなべ豊子公式サイト](#) [検索](#)



お気軽にご相談ください
453-5119

1. 子宮頸がん予防について

問 厚労省は子宮頸がん予防接種の勧奨を8年ぶりに再開する。現在の接種状況と取り組みは？

答 積極的勧奨が差し控えられ、年間6件程度。昨年、国から個別通知による情報提供を行うこととされ、全対象者に個別通知を実施。令和2年度は64件。3年10月時点で153件。

問 今後の取り組みは？

答 対象者に個別勧奨により必要な情報提供等を行う。

2. ヤングケアラー支援について

問 ヤングケアラーへの相談窓口の設置と福祉との連携については？

答 「子ども・家庭相談」を窓口として対応する。福祉との連携については「要保護児童対策地域協議会」の対応に準じ、具体的支援に繋がっていききたい。

要望 ヤングケアラー支援のための研修やコーディネーター、ピアサポート、オンライン相談等、国の財政支援があるので活用していただきたい。

3. 飼い主のいない猫不妊去勢活動支援の拡充について

問 支援の現状は？

答 平成30年度は20頭。令和元年度は36頭。2年度は54頭。

問 予算を超えている現状。公益財団法人どうぶつ基金の「さくら猫無料不妊手術事業」に参加してはどうか？

答 他団体の状況も踏まえ前向きに検討する。



4. 弱視の早期発見について

問 厚労省は3歳児健診に屈折検査機器を導入する自治体に、購入費の2分の1を補助する。導入してはどうか？

答 人員確保や健診体制の見直しが必要。導入予定の団体の状況を検証し、検討を進める。

要望 課題ではなく、効果の検証を望む。

一般質問の動画はこちら→



コミュニケーション支援ボードができました！！

避難所での要支援者の支援として、「コミュニケーションボード」の活用をH29年12月、R3年3月議会で質問してきました。この度、話し言葉に代わるツールとしてイラストで表示したコミュニケーション支援ボードを作成し、各避難所に配架してくれました。外国語にも対応できます。



☆新型コロナウイルス感染症についてのお知らせ☆

●自宅療養者・濃厚接触者への生活支援について
自宅療養を行う世帯及び家族全員が濃厚接触者の世帯に対し、食料品や日用品を詰め合わせた「生活支援パック」を置き配でお届けします。

ワクチンコールセンターにご連絡ください。

電話 0120-234-170 フリーダイヤル

※9月定例会の会派代表質問で「自宅療養者、濃厚接触者の方への支援」を要望し、9月27日、町長に緊急要望書を提出しました。